秦野市 ハザードマップ

― 大根・鶴巻地区 ―

風水害時の避難場所

○自宅の災害リスク

自宅が警戒区域や浸水想定区域（○m）に入っているかをチェックしておきましょう。

○私の避難場所

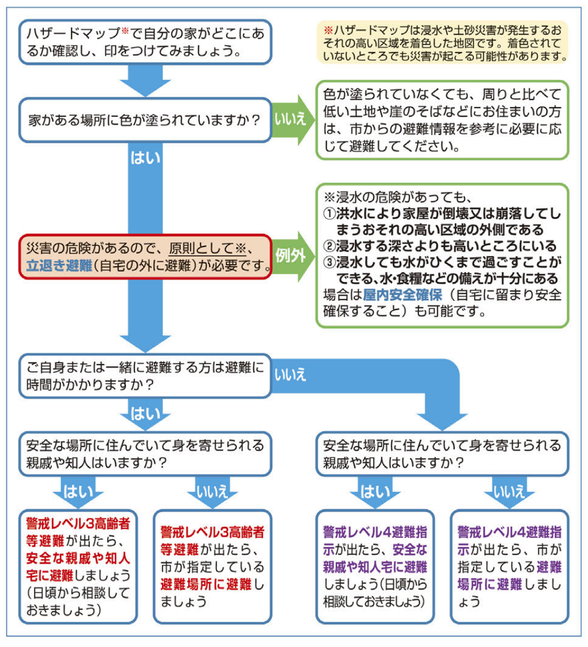
風水害時の避難所は公民館です。

○避難方法・自宅からの時間

状況に応じた避難行動

避難行動判定フローチャート

このフローチャートは、はい・いいえで自分がとるべき避難行動を確認することができます。ハザードマップで自宅の災害リスクを確認するとともに、「自らの命は自らが守る」意識を持って、自分のとるべき行動も平時から確認しておきましょう。



防災気象情報の入手方法

秦野市が提供する情報

秦野市では防災行政無線やウェブサイト等を用いて、市民の皆さんに情報を発信しています。災害時には市民の皆さんも積極的に情報を入手し、自身の身を守るために活用してください。

秦野市ホームページ 検索

最新の気象情報や雨量情報、河川ライブカメラなどを確認できます。

はだのWEBマップ 検索

防災に関する地図情報を皆さんに公開・提供するサイトです。

秦野市防災行政無線 検索

屋外スピーカーから、市内全域に緊急情報などを放送します。

雨風が強い場合や屋内にいる場合、建築物等の地理条件などによって放送が聞こえづらくなる可能性があります。防災行政無線の放送内容は、市ホームページや登録制の緊急メール、テレホンサービスで確認することができます。

電話番号は市ホームページ上で確認できます。

国や県が提供する情報

国土交通省 川の防災情報 検索

全国の雨量・水位情報、河川情報カメラ画像を確認できます。

気象警報 注意報 検索

気象庁から発表される気象警報・注意報を確認できます。

キキクル「危険度分布」 検索

大雨や洪水による災害の危険が、どこでどのレベルで迫っているかを地図上で確認できます。

神奈川県 雨量水位情報 検索

神奈川県内の雨量、河川の水位・カメラ画像を確認できます。

神奈川県 土砂災害情報ポータル 検索

県内の土砂災害の危険度などの情報を確認できます。

e-かなマップ 検索

県内の「くらし」、「防災と安全」などの地図情報を確認できます。

ハザードマップの使い方

1. マップから自宅を見つける
2. 避難する場所を確認する
3. 安全な避難経路を決める
4. 実際に避難経路を歩いてみる

5. 家族で災害時の対応を話し合う

6. 学校やご近所で考える

マイ・タイムライン

自分自身の避難行動計画を記入しましょう

マイ・タイムラインとは、風水害の発生に備えて「いつ」「だれが」「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の避難行動計画のことです。各タイミングにおける自分の行動を記入しましょう。

警戒レベル

警戒レベル4避難指示 で、危険な場所から全員避難してください。

警戒レベル	状況	避難行動等	気象情報等（気象庁が発表）	避難情報等（秦野市が発令）
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	大雨特別警報	緊急安全確保
〈警戒レベル4までに必ず避難！〉				
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	土砂災害警戒情報	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	大雨警報 洪水警報	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨注意報 洪水注意報	
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	

※避難情報は必ずしも、この順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。
また、これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。**垂直避難や水平避難**などで直ちに身の安全を確保してください。

避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、**警戒レベル3高齢者等避難**で危険な場所から避難しましょう。

※最新の情報は内閣府ホームページをご覧ください。
http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/（内閣府 HP）

土砂災害から身を守る

土砂災害防止法について

神奈川県は、がけ崩れなどの土砂災害から県民の生命を守るため、土砂災害防止法にもとづき、土砂災害特別警戒区域と土砂災害警戒区域を指定しています。

秦野市に影響のある「土砂災害警戒区域」は416区域、「土砂災害特別警戒区域」は345区域です。（令和3年5月14日　神奈川県指定）

◆ 土砂災害警戒区域

がけ崩れ等が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

◆ 土砂災害特別警戒区域

がけ崩れ等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、一定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

土砂災害の種類

がけ崩れ：雨や雪どけ水、地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる現象です。

土石流：山や川の石や土砂が、大雨などにより水と一緒になって激しく流れ下る現象です。

地すべり：雨や雪どけ水が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す現象です。

状況に応じた避難行動

● 水平避難

避難指示や災害の前兆現象があった場合は早めに行動し、避難場所や土砂災害警戒区域外の親戚の家など、安全な場所へ避難してください。

● 垂直避難

避難場所への退避が困難な場合は、近くの堅牢な建物の2階以上へ避難してください。

夜間や屋外への避難が危険な場合は、屋内のがけから離れた2階の部屋などに退避してください。

洪水被害から身を守る

想定される洪水

近年、台風や集中豪雨による洪水や、がけ崩れなどの被害が全国各地で発生しています。市街化の進行により、雨水を貯えていた田畑や森林が大幅に減少し、道路の舗装や排水路整備が進み、雨水が一気に河川に流れ込む傾向にあります。また、急に雨雲が発生するゲリラ豪雨が近年頻繁に起こっています。

● 外水氾濫

河川から水があふれておきる洪水

大雨などにより川の水が増えて水かさが上がり、堤防に圧力がかかります。

堤防いっぱいに水が増えると、やがて堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊して勢いよく水が街に襲いかかります。

● 内水氾濫

排水路などから水があふれる浸水

通常、街に降った雨は道路側溝や水路などにより川に排水されます。しかし、大雨により、排水先河川の水位が上がると排水されにくくなったり、浸水することもあります。

雨の降り方と注意報・警報の関係（目安）

気象庁は、大雨、地震、津波、高潮などにより重大な災害の起こるおそれがある時に、警報を発表して警戒を呼びかけます。これに加え、警報の発表基準をはるかに超える大雨や大津波等が予想され、重大な災害の起こるおそれが著しく高まっている場合、「特別警報」を発表し最大級の警戒を呼びかけます。

秦野市大根・鶴巻地区ハザードマップ

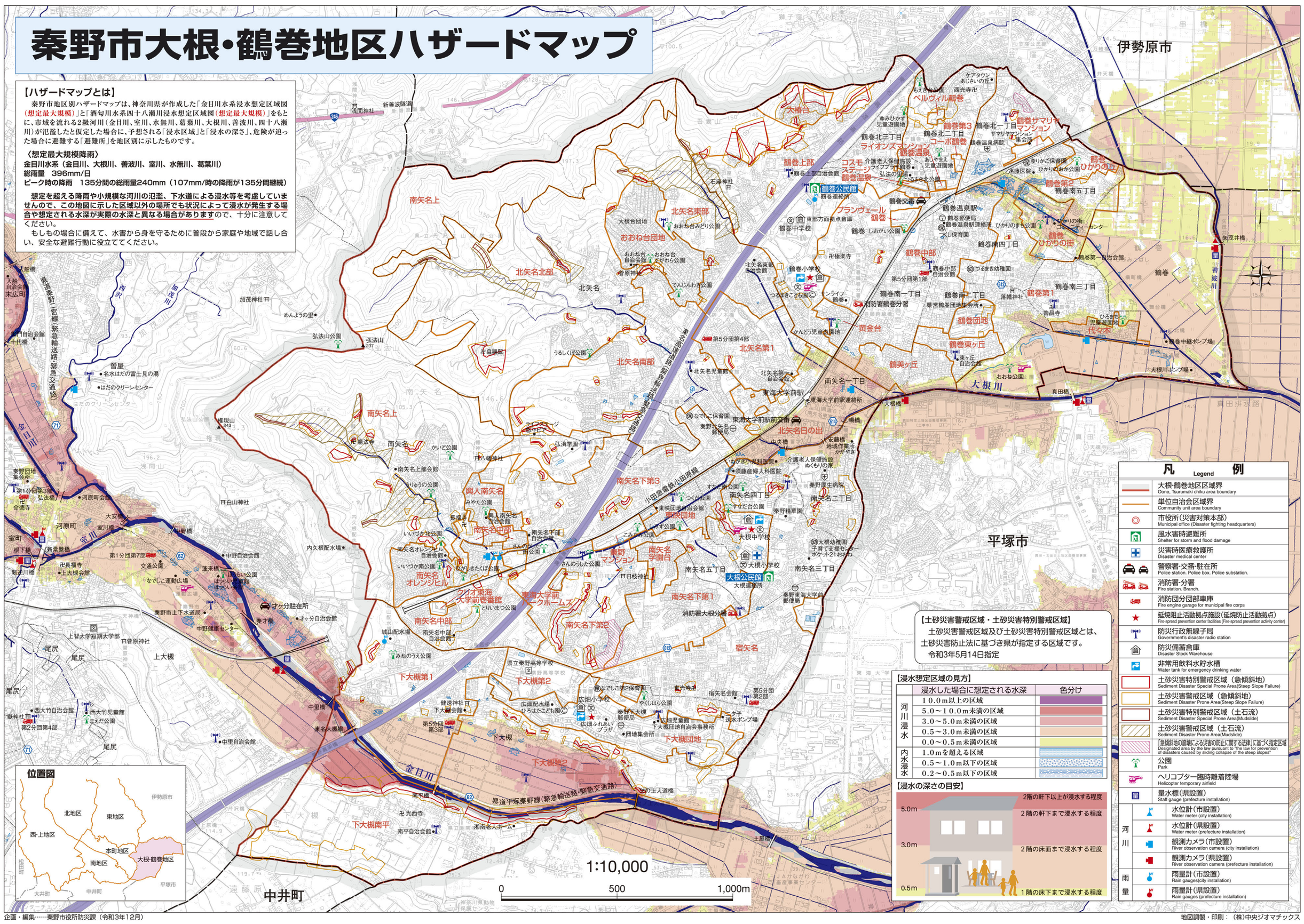
【ハザードマップとは】

秦野市地区別ハザードマップは、神奈川県が作成した「金目川水系浸水想定区域図（想定最大規模）」と「酒匂川水系四十八瀬川浸水想定区域図（想定最大規模）」をもとに、市域を流れる2級河川（金目川、室川、水無川、葛葉川、大根川、善波川、四十八瀬川）が氾濫したと仮定した場合に、予想される「浸水区域」と「浸水の深さ」、危険が迫った場合に避難する「避難所」を地区別に示したものです。

〈想定最大規模降雨〉
金目川水系（金目川、大根川、善波川、室川、水無川、葛葉川）
総雨量　396mm/日
ピーク時の降雨　135分間の総雨量240mm（107mm/時の降雨が135分間継続）

想定を超える降雨や小規模な河川の氾濫、下水道による浸水等を考慮していませんので、この地図に示した区域以外の場所でも状況によって浸水が発生する場合や想定される水深が実際の水深と異なる場合がありますので、十分に注意してください。

もしもの場合に備えて、水害から身を守るために普段から家庭や地域で話し合い、安全な避難行動に役立ててください。



【土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域】

土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域とは、土砂災害防止法に基づき県が指定する区域です。

令和3年5月14日指定

【浸水想定区域の見方】

	浸水した場合に想定される水深	色分け
河川浸水	10.0m以上の区域	
	5.0～10.0m未満の区域	
	3.0～5.0m未満の区域	
	0.5～3.0m未満の区域	
	0.0～0.5m未満の区域	
内水浸水	1.0mを超える区域	
	0.5～1.0m以下の区域	
	0.2～0.5m以下の区域	

【浸水の深さの目安】

凡例 Legend

- 大根・鶴巻地区区域界 Oone, Tsurumaki chiku area boundary
- 単位自治会区域界 Community unit area boundary
- 市役所（災害対策本部） Municipal office (Disaster fighting headquarters)
- 風水害時避難所 Shelter for storm and flood damage
- 災害時医療救護所 Disaster medical center
- 警察署・交番・駐在所 Police station. Police box. Police substation.
- 消防署・分署 Fire station. Branch.
- 消防団分団部車庫 Fire engine garage for municipal fire corps
- 延焼阻止活動拠点施設（延焼防止活動拠点） Fire-spread prevention center facilities (Fire-spread prevention activity center)
- 防災行政無線子局 Government's disaster radio station
- 防災備蓄倉庫 Disaster Stock Warehouse
- 非常用飲料水貯水槽 Water tank for emergency drinking water
- 土砂災害特別警戒区域（急傾斜地） Sediment Disaster Special Prone Area(Steep Slope Failure)
- 土砂災害警戒区域（急傾斜地） Sediment Disaster Prone Area(Steep Slope Failure)
- 土砂災害特別警戒区域（土石流） Sediment Disaster Special Prone Area(Mudslide)
- 土砂災害警戒区域（土石流） Sediment Disaster Prone Area(Mudslide)
- 「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」に基づく指定区域 Designated area by the law pursuant to "the law for prevention of disasters caused by sliding collapse of the steep slopes"
- 公園 Park
- ヘリコプター臨時離着陸場 Helicopter temporary airfield
- 量水標（県設置） Staff gauge (prefecture installation)

河川	W	水位計（市設置） Water meter (city installation)
	W	水位計（県設置） Water meter (prefecture installation)
		観測カメラ（市設置） River observation camera (city installation)
		観測カメラ（県設置） River observation camera (prefecture installation)
雨量	W	雨量計（市設置） Rain gauges(city installation)
	W	雨量計（県設置） Rain gauges (prefecture installation)

企画・編集……秦野市役所防災課（令和3年12月）
地図調製・印刷：（株）中央ジオマチックス